

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Dコート 第4試合 県立深谷第一高校

チームA				チームB
県立四日市工業	72	8 - 22 25 - 13 22 - 12 17 - 27	74	関西学院
三重				兵庫

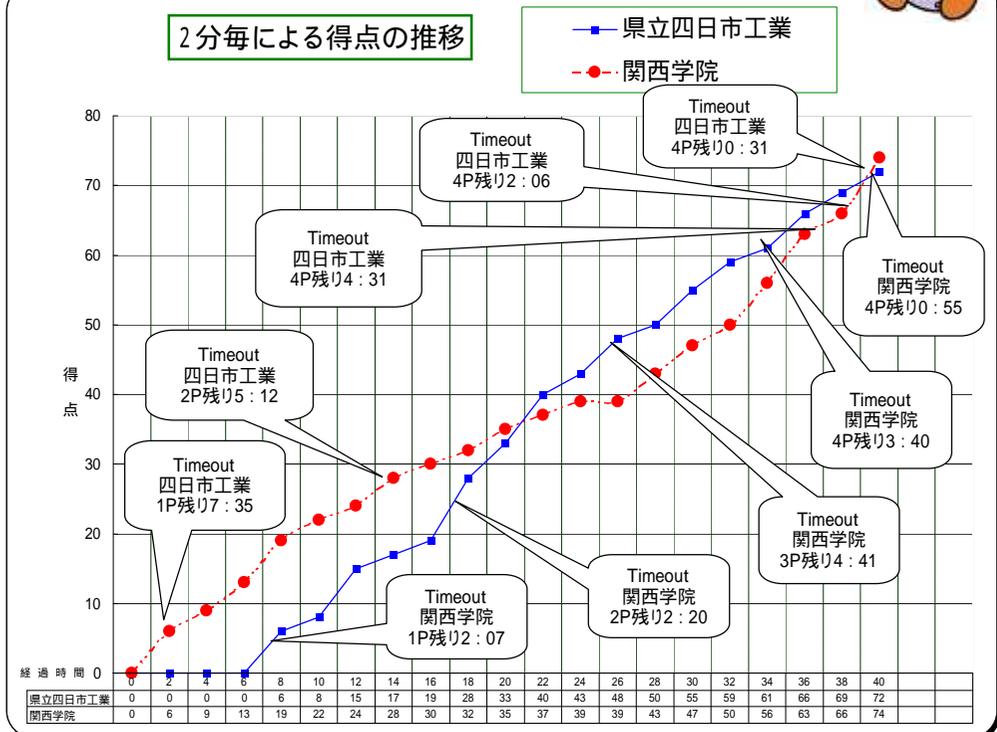
県立四日市工業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	岩田 良介	X	13	1	5	5	11	0	0	5	4	2	4	5	6	0	38
5	布谷 進之介		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	加藤 慎二郎	X	21	4	13	4	7	1	1	3	2	3	5	6	4	0	40
7	川合 勇成	X	16	3	10	3	11	1	2	4	3	2	1	0	3	0	37
8	近藤 創	X	11	1	5	4	11	0	2	2	2	3	4	2	1	0	28
9	廣大 悟	X	11	1	3	4	7	0	0	3	3	6	1	3	7	0	38
10	出岡 祐紀	/	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	11
11	谷口 雄馬	X	0	0	0	0	4	0	0	1	1	1	0	1	0	0	8
12	渡部 光盛		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	竹内 賢太		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	深見 和俊		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	坂口 祐輝		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	水谷 幸司									0	4	3	0				
出場: ×は先発、/は出場			72	10	37	20	52	2	5	20	19	20	18	17	21	0	200
			確率	27.0%	38.5%	40.0%				計	39						

関西学院

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	西本 隼之介	X	21	0	0	7	12	7	10	3	2	4	4	1	3	0	29
5	吉田 健士郎	X	7	1	1	2	3	0	0	3	0	6	5	1	2	0	20
6	徳田 学	X	10	0	0	3	11	4	8	2	7	3	3	0	0	2	24
7	源中 啓祐	X	4	0	6	2	4	0	0	3	2	14	9	1	3	2	31
8	渡辺 涼平	/	5	0	0	2	3	1	2	3	0	2	1	1	1	0	21
9	森岡 優		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	楊 輝久	/	12	0	0	5	9	2	3	1	2	5	3	0	0	2	27
11	池田 泰輔	/	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
12	山田 大蔵	/	4	0	0	2	4	0	0	0	1	2	2	1	0	0	17
13	奥武 大		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	吉井 遼	X	7	0	0	2	8	3	4	0	0	3	6	0	0	1	21
15	藤井 翔	/	2	0	0	1	2	0	0	2	0	0	0	1	1	1	8
コーチ	竹内 裕幸									0	1	7	2				
出場: ×は先発、/は出場			74	1	7	27	57	17	27	17	15	47	35	6	11	8	200
			確率	14.3%	47.4%	63.0%				計	62						

2分毎による得点の推移



戦評

第1P四日市工業マンツーマン、関西学院マッチアップゾーンでスタート。ゾーンを攻めあくむ四日市工業に対し関西学院は#5吉田3P、#4西本のドライブインで加点する。四日市工業たまたまタイムアウト。ディフェンスを32ゾーンに切りかえるも7分間ノーゴールがひびき22対8で関西学院がリード。

第2P四日市工業はオールコートマンツーマンにディフェンスを変えてプレッシャーをかけミス誘い#4岩田のレイアップシュート、#7川合の3Pなどで点差を詰めていく。残り5分四日市工業は122ゾーンプレス仕掛け#6加藤、#9廣、#7川合の連続3Pで一気に追いつき35対33の2点差で前半を終えた。

第3P四日市工業は相手のディフェンスの隙をつき逆転に成功。その後も#7川合の3Pなどで引き離しにかかるが関西学院#12山田の連続ゴールで一進一退となり55対47四日市工業リードで第4Pへ。

第4P四日市工業#8近藤のジャンプシュート#4岩田のスティールで点差を最大の10点とするが関西学院も#10楊のリバウンドシュートなどで追いつく。残り31秒関西学院は1点差とし#6徳田がフリースローをしっかりと2本決め逆転。その後互いに1歩も譲らず最後は残り7秒での関西学院#4西本がフリースローをしっかりと決め関西学院の勝利となった。

主審	向井 和宏	副審	阿相 伸一	戦評	佐々木 信勝 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	-----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット